令和5年度　自己点検・評価表

学校名：専門学校 岡山情報ビジネス学院

1. 学校の教育目標

創立より大切にしてきたのは “生きる力の養成”。
専門学校は、めざす業界・職種で必要とされる知識や技術を修得する場所ですが、社会人として生きていく上で大切なこと、学んでおくべきことは専門知識や技術だけではありません。だからこそ本校は、創立当初より「知識や技術だけに偏らない、バランスのとれた心豊かな人材の育成」に力を入れています。本校で学び、資格を取得すると同時に、社会的常識や基本マナーも身につけ、幅広い視野を持って巣立ってほしい。それが社会での「生きる力」となります。本校は学生の将来の目標に寄り添い、人間的な成長も手助けしたいと考えています。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1)教職員組織体制の見直し
①煩雑になっている業務状況の把握と整備
②次世代リーダーを中心とした各部署の状況共有とフォロー体制構築

(2)退学防止のための取組強化
①定期ガイダンスの実施　　②学習成果の把握

(3)寄附行為改定に向けた準備
2024年4月の私学法改正に向けて、寄附行為改定内容の検討

(4)広報組織の強化
①広報を中心としたオープンキャンパスの展開
②留学生向け専属広報の設置

3. 評価項目の達成及び取組状況

1　教育理念・目標				カテゴリー	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切‥2. 不適切‥1				エビデンス、取組状況、問題点
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像（教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか）						
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	A	4	3	2	1	募集要項、HP、学生の手引き
1	1	2	学生・保証人（保護者）に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	4	3	2	1	学生の手引き、募集要項、HP
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	4	3	2	1	教職員全体会議、新人研修、募集要項、教務マニュアル
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	4	3	2	1	HP、募集要項
1	2	中項目	教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか）						
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか（コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか）	A	4	3	2	1	カリキュラムブック、教育課程編成委員会議事録、学生の手引き、
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか（学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか）	A	4	3	2	1	教育課程編成委員会議事録、学校関係者評価委員会議事録、中期事業計画書
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	4	3	2	1	カリキュラムブック、学則（授業科目等の概要）、シラバス、募集要項
1	2	4	各修業期間における教育目的・目標・教育計画が文書化され、提示されているか	C	4	3	2	1	カリキュラムブック、学則（授業科目等の概要）、シラバス、ターム編成表

① 課題

全ての業界において新しい技術や考えが進んでいる中で、各学科の教育内容は時代に合っているか。業界の動向やニーズを授業に反映できているか。旧態依然のままのカリキュラムになっていないか。

② 今後の改善方策

外部有識者（教育課程編成委員会等）との意見交換や専門分野の研修をしっかり活かす。また、企業連携等の充実化をはかり、現職の方々からも貪欲に吸収し、カリキュラムに反映させる。

③ 特記事項

前年、学生の多様化として課題となっていたクラスに馴染めない学生に対するメイトルームの運営が開始された。

2 学校運営				カテゴリー	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切‥2. 不適切‥1				エビデンス、取組状況、問題点
2	1	中項目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）						
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	4	3	2	1	中期事業計画書
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	B	4	3	2	1	中期事業計画書
2	2	中項目	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）						
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	A	4	3	2	1	事業計画書、教職員全体会議
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	4	3	2	1	ターム編成表
2	3	中項目	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）						
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されているか	A	4	3	2	1	寄附行為、理事会議事録、評議員会議事録、幹部会議議事録
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	4	3	2	1	組織図、会議体一覧
2	3	3	組織機能図があるか	A	4	3	2	1	組織図
2	3	4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的に開催されているか	B	4	3	2	1	幹部会議議事録
2	3	5	理事会・評議員会の議事録は公開されているか	C	4	3	2	1	規定の作成が必要
2	3	6	教職員（組織の構成員）それぞれの職務分掌が文書化されているか	C	4	3	2	1	2023年度末に作成。2024年度より運用開始。
2	3	21	出退勤管理簿があるか	A	4	3	2	1	グループウェアタイムカード、出勤管理簿、PCの起動ON/OFF ログ管理
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	A	4	3	2	1	職員健康診断の案内、教職員健康診断表、再検査受診斡旋記録、衛生委員会
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	4	3	2	1	建物点検、消火設備点検、電気設備点検、エレベーター点検記録
2	4	中項目	教職員の評価・育成（教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか）						
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	4	3	2	1	私立専修学校報告書、教職員名簿
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	4	3	2	1	HP、求人サイト、求人票、応募状況一覧表
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	4	3	2	1	学生アンケート結果、フィードバック面談スケジュール表
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	4	3	2	1	GL会議、学科会議
2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	4	3	2	1	職業実践専門課程第4様式、研修報告書
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	A	4	3	2	1	研修は行っているが、効果の評価及び文書記録はない。
2	4	23	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実施しているか	B	4	3	2	1	面談スケジュール表
2	4	24	［職業実践専門課程］<u>専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携</u>し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	4	3	2	1	企業連携授業
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか（教職員研修計画の作成）	B	4	3	2	1	学科レベルで行われており、個人レベルにまで落とし込めていない。
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	4	3	2	1	随時情報交換、会議形式ではないため議事録はなし
2	4	42	事務職員の意欲・資質の向上を図るための方策を講じているか	C	4	3	2	1	目的と計画を明確にして実施することが今後の課題。
2	5	中項目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）						
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	4	3	2	1	就業規則
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	4	3	2	1	就業規則、給与規定、退職金規定、出張旅費規程
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	3	2	1	給与規定
2	5	4	採用制度は文書化されているか	B	4	3	2	1	就業規則

2	6	中項目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）						
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか （情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	A	4	3	2	1	基幹システムCampusPlan Excel_VBAを用いたアプリ作成

① 課題

中長期的に見た学生規模・学科編成の再構築と教職員構成のバランス構築。

② 今後の改善方策

職務分掌に基づいた組織の強化と教職員一人ひとりの意識の定着。

③ 特記事項

特になし

3 教育活動				カテゴリー	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切‥2. 不適切‥1				エビデンス、取組状況、問題点
3	1	中項目	目標の設定（教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）						
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	4	3	2	1	募集要項、カリキュラムブック、学生の手引き、HP
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	4	3	2	1	カリキュラムブック、シラバス
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	4	3	2	1	募集要項、カリキュラムブック、学校関係者評価委員会議事録、教育課程編成委員会議事録
3	2	中項目	教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）						
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	4	3	2	1	カリキュラムブック、シラバス
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	4	3	2	1	シラバス
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	4	3	2	1	コマシラバス
3	2	4	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	B	4	3	2	1	HP、シラバス
3	2	5	授業はシラバスに基づいて授業が展開されているか。また学校構成員（すべての教員、職員、学生）に周知を図っているか	C/J	4	3	2	1	HP、シラバス
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	A	4	3	2	1	学生アンケート結果、教員研修による相互評価
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	4	3	2	1	新人研修、教員相互授業見学
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	B	4	3	2	1	学生アンケート結果
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	4	3	2	1	管理職よりフィードバック
3	2	41	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか（カリキュラム作成委員会等）	B	4	3	2	1	教育課程編成委員会議事録、学科会議
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	4	3	2	1	教育課程編成委員会議事録
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	4	3	2	1	シラバス（企業連携科目）
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	4	3	2	1	カリキュラムブック、シラバス、企業連携授業による企業との協定書
3	2	83	［職業実践専門課程］専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	4	3	2	1	教育課程編成委員会議事録、実習報告書、企業連携授業による企業との協定書

3	2	84	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	B	4	3	2	1	実習覚書、インターンシップ実習日誌、インターンシップ実習評価表
3	2	85	企業・地域・行政との連携を図っているか	C	4	3	2	1	HP（デザインゴールズ、岡山県警サイバー犯罪対策課 等）
3	2	86	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか	C/Q	4	3	2	1	近畿大学との提携書
3	3	中項目	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）						
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	4	3	2	1	学生の手引き、進級基準・卒業基準、シラバス、学則
3	3	2	学生や保証人（保護者）に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	4	3	2	1	学生の手引き、保護者会資料、学則
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	4	3	2	1	卒業認定表、進級認定表、学則
3	3	4	［職業実践専門課程］専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	4	3	2	1	インターンシップ実習評価表
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）						
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	A	4	3	2	1	検定対策計画書、カリキュラムブック
3	5	中項目	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（ ① 人間関係形成・社会形成能力、② 自己理解・自己管理能力、③ 課題対応能力、④ キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）						
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	4	3	2	1	志セミナー、シラバス、OICキャリアサポートプログラム
3	5	2	卒業後の専攻分野におけるキャリア形成への適応性、効果を把握しているか。また、それを踏まえ教育活動等の改善を図っているか	C	4	3	2	1	企業アンケート
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	4	3	2	1	高校出前授業計画書
3	2	41	リメディアル（導入前教育・補習）教育を行っているか	C	4	3	2	1	入学前教育プログラム

① 課題

1.講義にはシラバスを作成して公開しているが、シラバス作成の精度においては、ばらつきがある点が課題。非常勤や新人教員が増えている状況において、記述方法や粒度を明確にしたガイドラインが必要。

2.・授業評価について、フィードバック後にどのように改善を図っていくか計画が明確にならずに、その場の注意に留まっていることが多い。具体的な改善に向けたアクションプランの策定が必要。

② 今後の改善方策

1.シラバスガイドラインの作成と研修によって教職員に周知徹底する。

2.教師の授業改善に向けた目標設定を策定。アクションプランを策定し、進捗状況をトラッキングして達成状況を確認する。

③ 特記事項

特になし

4 学修成果・教育成果				カテゴリー	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切・2. 不適切・1				エビデンス
4	1	中項目	学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）						
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	4	3	2	1	期末試験成績一覧
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	B	4	3	2	1	シラバス

4	2	中項目	就職率（就職率の向上が図られているか）						
4	2	1	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか）	A	4	3	2	1	キャリアサポート室年間計画書、就職会議議事録、シラバス
4	2	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか	A	4	3	2	1	年間目標シート
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	4	3	2	1	就職活動状況表
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	B	4	3	2	1	HP
4	2	5	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか	C	4	3	2	1	キャリアサポート室報告シート
4	3	中項目	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）						
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	A	4	3	2	1	検定対策計画書
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	4	3	2	1	検定対策計画書
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	3	2	1	検定対策計画書
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	4	3	2	1	検定対策報告書
4	3	5	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	B	4	3	2	1	パンフレット、HP
4	4	中項目	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）						
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	A	4	3	2	1	卒業生在職調査
4	4	2	卒業生の動向について、年度毎に調査・集計し、動向等を把握しているか	C/Q	4	3	2	1	卒業生在職調査
4	4	3	卒業年度だけでなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握しているか	C/Q	4	3	2	1	卒業生在職調査

① 課題

1.売り手市場によって進路をよく考えないまま内定してしまい早期離職につながっている。

2.卒業生在職調査において、相対的に主体性や熱意の項目のポイントが低い。企業から求められる人材とのギャップがある。

② 今後の改善方策

1.自分にあったキャリアを実現するためのサポートを強化するための多面的なプログラムを用意して、個人の特性に合った多様なキャリア形成支援を行う

2.学生が自ら考えて運営するような経験として、学校行事の運営を学生主体で行えるように学生会のような組織体を作り、成功体験を積むことで自信を持って主体的に活動できる学生を育てる。

③ 特記事項

特になし

5 学生支援				カテゴリー	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切‥2. 不適切‥1				エビデンス
5	1	中項目	修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）						
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	4	3	2	1	学生調査票、学生指導の記録
5	2	中項目	就職等進路指導（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）						
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や保証人（保護者）に周知されているか）	A	4	3	2	1	就職活動のてびき、三者面談資料
5	2	2	キャリアサポート関連の有資格者（キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等）がいるか	C	4	3	2	1	資格取得者一覧
5	2	3	就職担当部門と担任教員との連携は図られているか	C/Q	4	3	2	1	就職会議の記録
5	2	4	関連業界への就職率の向上は図られているか	C/Q	4	3	2	1	就職活動報告書、就職先一覧、教育課程編成委員会議事録
5	3	中項目							
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	A	4	3	2	1	スクールカウンセラーの案内
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	4	3	2	1	指導の記録

5	4	中項目	学生生活（学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか）						
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	4	3	2	1	募集要項、奨学金説明会資料
5	4	2	公的支援制度の利用について、学生・保証人（保護者）に案内、情報提供しているか	C/Q	4	3	2	1	公的奨学金制度説明書、案内の記録
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	A	4	3	2	1	健康診断企画・計画書、健康診断結果
5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	4	3	2	1	部活・サークル顧問一覧
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか（学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか）	A	4	3	2	1	民間企業の案内
5	5	中項目	中途退学への対応（退学率の低減が図られているか）						
5	5	1	退学率の低減が図られているか（受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	A	4	3	2	1	出欠状況表、指導の記録、退学報告書、学生状況一覧
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	4	3	2	1	学科目標設定シート
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	3	2	1	学科目標設定シート
5	5	4	退学者数を公表しているか	B	4	3	2	1	HP、職業実践専門課程別紙様式4
5	5	5	中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握しているか	C/Q	4	3	2	1	出欠状況表、指導の記録、退学報告書、学生状況一覧
5	6	中項目	保証人（保護者）との連携（保証人との連携体制を構築しているか）						
5	6	1	保証人（保護者）と適切に連携しているか（保証人のニーズを把握しているか）	A	4	3	2	1	指導の記録、保護者会資料
5	6	2	保証人（保護者）との計画的な相談会・面談を行っているか	B	4	3	2	1	三者面談案内
5	6	3	緊急時の保証人（保護者）等との連絡体制を確保しているか	C/Q	4	3	2	1	学生調査書
5	7	中項目	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）						
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	B	4	3	2	1	卒業生向け就職活動カルテ
5	7	2	学校情報を卒業生に知らせているか（HP・学校便り等）	C	4	3	2	1	卒業生への体系的な連絡手段がない（過去の担任教員からの連絡等が主）
5	7	3	学校は同窓会との連携を図っているか	C/Q	4	3	2	1	
5	7	21	卒業生への卒後教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか）	B	4	3	2	1	保育での勉強会実施
5	7	22	卒業生への資格、検定等不合格者に対する対策を講じているか	C/Q	4	3	2	1	検定試験の過去問題提供等
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	4	3	2	1	
5	7	42	大学等卒業者の入学に際し、入学前の履修に関しての取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定しているか	C/Q	4	3	2	1	規定なし

① 課題

卒業生とのつながりは担任教師とのつながりが中心であり、体系的に卒業生に向けた情報発信や支援制度、同窓会の運営ができていない。

② 今後の改善方策

同窓会の運営の仕組みの構築と、定期的な情報発信、卒業生の連絡先の確認など、同窓会運営に向けた取り組みを検討する。

③ 特記事項

特になし

６　教育環境				カテゴリー	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切･2．不適切･1				エビデンス、取組状況、問題点
6	1	中項目	施設・設備等（施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか）						
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）	A	4	3	2	1	認可申請書、学則変更届、教室配置図
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	4	3	2	1	所蔵図書一覧表の作成が未着手
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	4	3	2	1	備品台帳の作成が未着手
6	1	4	図書室・図書コーナーがあり、図書館サービスは十分に機能しているか	C	4	3	2	1	図書は分野別に備えているが、図書館サービスとしての機能はない。
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	4	3	2	1	屋内施設禁煙、学外屋上喫煙場所指定
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	4	3	2	1	施設・設備点検結果、清掃報告
6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	A	4	3	2	1	建物点検、消火設備点検、電気設備点検、エレベーター点検記録
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等（校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備していますか）						
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	4	3	2	1	カリキュラムブック、学則（授業科目等の概要）、シラバス
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	4	3	2	1	インターンシップ実習実施関連書類、事前指導
6	2	3	校外実習等についての成績評価基準を明確に決めているか	C/Q	4	3	2	1	インターンシップ実習実施関連書類、教務マニュアル
6	3″	中項目	防災・安全管理（防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか）						
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	4	3	2	1	消防計画
6	3	2	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	A	4	3	2	1	消防設備点検報告、防犯カメラ
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	4	3	2	1	消防計画、消防訓練実施計画・報告
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか	B	4	3	2	1	消防計画、建物点検、消火設備点検、電気設備点検、エレベーター点検記録

① 課題

校舎が商業ビル内にあることで、一般の方も出入りする環境にある。学校とビルとの連携でセキュリティ面の強化が必要。

② 今後の改善方策

学校単体で解決できる問題ではないので、ビル管理会社、セキュリティ会社とも相談しながら対策を講じていく。

③ 特記事項

7　学生の受入れ募集				カテゴリー	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切･2．不適切･1				エビデンス、取組状況、問題点
7	1	中項目	学生募集活動（学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか）						
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	4	3	2	1	パンフレット、募集要項、HP、高校訪問報告
7	1	2	入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表しているか	A	4	3	2	1	募集要項、HP
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	4	3	2	1	パンフレット、HP
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	4	3	2	1	募集要項、パンフレット、HP
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	A	4	3	2	1	広報課、募集要項
7	1	22	学校説明会等による情報提供（育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報）を行っているか	A	4	3	2	1	募集要項、パンフレット、募集要項、HP、学科説明OCプレゼン資料
7	1	23	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか	B	4	3	2	1	入学前プログラム
7	1	41	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、オリエンテーションなどで学校側の義務と責任を学生と保証人（保護者）に案内しているか	C/J	4	3	2	1	学生の手引き、募集要項
7	2	中項目	入学選考（入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか）						
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	A	4	3	2	1	募集要項
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	A	4	3	2	1	合格者判定会議資料
7	3	中項目	学納金（学納金は妥当なものとなっているか）						
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	4	3	2	1	募集要項
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	4	3	2	1	募集要項

① 課題

個人情報の取り扱い、安全管理などについて、文章では明記しているものの、特に保証人（保護者）への説明が十分にできていないことが課題。

② 今後の改善方策

文章での明記に加え、入学前の段階ではオープンキャンパスで、入学後はオリエンテーションや保護者会等で説明する機会を設けていきたい。

③ 特記事項

特になし

8　教育の内部質保証システム				カテゴリー	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切･2．不適切･1				エビデンス、取組状況、問題点
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守（法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか）						
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	4	3	2	1	私立専修学校報告書、学則変更届、教職員名簿、学校運営履修プログラム受講
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	4	3	2	1	組織図
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	4	3	2	1	ハラスメント防止規定、個人情報保護規定、公印規定、マイナンバー取扱規定
8	1	21	セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規定を文書化し、対策を立て実行しているか	C/Q	4	3	2	1	ハラスメント防止規程、就業規則、研修実施
8	2	中項目	個人情報保護（個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか）						
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	4	3	2	1	個人情報保護規程、プライバシーポリシー（募集要項等）
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	4	3	2	1	個人情報保護規程
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	B	4	3	2	1	研修実施

8	3	中項目	学校評価（自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか）						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	4	3	2	1	自己点検・評価報告書、改善計画書、改善報告書
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか（自己点検・評価報告書があるか）	A	4	3	2	1	自己点検・評価報告書
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	4	3	2	1	
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	B	4	3	2	1	学校関係者評価委員会議事録、委員会名簿
8	5	中項目	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか）						
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	4	3	2	1	職業実践専門課程別紙様式4、HP
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	A	4	3	2	1	自己点検・評価報告書、HP
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	B	4	3	2	1	学校関係者評価報告書、HP

① 課題

関連法令等に対する情報収集およびそこに向けての対応組織の整備と強化。

② 今後の改善方策

2024年に4月の私学法改正に向けての準備を、進めていく。
併せて、2025年4月の学校教育法改正に向けての情報収集を進めていく。

③ 特記事項

特になし

9 財務				カテゴリー	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切・2．不適切・1				エビデンス、取組状況、問題点
9	1	中項目	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）						
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	4	3	2	1	財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書、事業報告書
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	4	3	2	1	予算書、中期事業計画、理事会議事録
9	2	中項目	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）						
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	4	3	2	1	予算書、理事会議事録、評議員会議事録
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	4	3	2	1	予算実績管理表、月別予算実績対比表
9	3	中項目	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）						
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	4	3	2	1	会計監査報告書、理事会議事録、評議員会議事録
9	3	2	会計監査（内部・外部）体制のルールが明確化されているか	C/Q	4	3	2	1	寄附行為
9	3	3	会計監査（月次決算書等）の結果報告が文書等にて明確化されているか	C/Q	4	3	2	1	会計監査報告書

9	4	中項目	財務情報の公開（私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）						
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	4	3	2	1	寄附行為
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取組んでいるか	B	4	3	2	1	HP(財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書、事業報告書)

① 課題

教育環境のハード面の段階的整備

② 今後の改善方策

現時点では経営基盤となる資金は問題はないが、学生数の減少による収支バランスを中期的に見直し経営基盤の安定を図る

③ 特記事項

特になし

10 社会貢献・地域貢献				カテゴリー	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切‥2. 不適切‥1				エビデンス、取組状況、問題点
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか）						
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	4	3	2	1	教室の貸し出し事業、出張出前講座、ETロボコン 岡山予選会場提供
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む ）の受託等を積極的に実施しているか	A	4	3	2	1	県委託事業高校生向けプログラミング講座、中学生向け職場体験
10	2	中項目	ボランティア活動（学生のボランティア活動を奨励・支援しているか）						
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	4	3	2	1	各種団体からのボランティア依頼に対して学生への紹介や参加者の取りまとめ。 【ボランティア実績例】 岡山マラソン、赤い羽根共同募金、社会福祉施設・保育園・幼稚園でのイベント
10	2	2	目標・計画に基づく社会的活動（地域活動・地域貢献・ボランティア活動等）を実施しているか	C	4	3	2	1	目標・計画に基づく社会的活動は今後に向けての課題。

① 課題

ボランティアや中高生向け講座の開設等について依頼があれば積極的に引き受けて、実施している。積極的に学生側からもボランティア活動や地域貢献活動について考える土壌を育てていきたい。

② 今後の改善方策

次年度に向け、分掌として組織的にボランティアの計画立案及び説明を実施していく。学生会や様々な学科にも情報を共有し、考えや意見、立案を促す。

③ 特記事項

特になし

11 国際交流				カテゴリー	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切‥2. 不適切‥1				エビデンス、取組状況、問題点
11	1	中項目	留学生の受入れ・海外への留学（留学生の受入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか）						
11	1	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	A	4	3	2	1	日本語学校との情報交換
11	1	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	A	4	3	2	1	行政書士との連携（書類手続き、学生への滞在に関する諸注意など）
11	1	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	A	4	3	2	1	シラバス、学生「指導の記録」簿、出欠席管理
11	1	4	学習成果が国内外（学外、企業の方など）で評価される取組を行っているか	A	4	3	2	1	キャリア実習成果報告会、スピーチコンテスト、卒業研究発表会

① 課題

海外からの入学者に対して、現時点で学校からの情報が少ない

② 今後の改善方策

海外の日本語学校等にも情報を公開できるようにグローバル化を進めていく

③ 特記事項